

レポート・論文の書き方について

①レポート・論文とは何か

千葉商科大学付属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

■レポート・論文の目的

客観的事実を根拠にして

- ・資料・文献調査の結果
- ・実験結果のデータなど

↓
自分の意見の主張を行い

感想文との違い

「感想文」は
感想=自分の思ったこと（主観）を
読み手に説明する

主観に基づいているため
他の人と検討・討議ができない

読み手を説得し納得させること

客観的事実に基づいているため
他の人と検討・討議ができる

参考：初年次教育テキスト編集委員会『フレッシュマンセミナーテキスト』東京電機大学出版局,2014

■レポートに必要となるもの

► 根拠となる客観的な事実

- ・信頼性の高い情報（出典・出どころが明確で、偏っていないもの）
「価値のある情報は基本的には有料である」という常識を持とう。
専門的知識を持ち、情報に責任を持っている発信者を知ろう。
- ・読み手がその事実（情報）を調べたときに、同じ情報を得られるもの
引用・参考情報を正しく表記しよう。
情報が更新される可能性のあるメディア（Webページなど）の場合は、閲覧した年月日も表記するのが一般的。

新聞や雑誌の出版社などが提供するデータベースで
Web上で情報を得ることができます。

► 自分の意見

- ・レポートや論文全体を通して伝えたいこと
・知識をまとめて考えた自分なりのアイデア
レポート・論文全体で主張が一貫していないと何も伝わらない。
情報を自分なりに分析して意見を主張しよう。
同じ情報（客観的な事実）に基づいていても、人それぞれの視点や解釈があるため
全く同じ内容のレポートはあり得ない。

► 読み手にわかりやすく書く（まとめる）技術

- ・主張と根拠が合理的につながるよう論理的に説明する
- ・自分の思考の流れを順序だてて書く
- ・図表や写真などを適切に使用する
- ・「人に読んでもらえる」レベルまでの文章の整理
(表記の統一、わかりにくい用語の注釈や定義、誤字脱字のチェックなど)

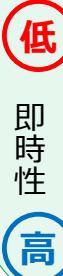
レポート・論文の書き方について書かれた電子書籍を
自宅からWeb上で読むことができます。

レポート・論文の書き方について

②根拠となる情報の集め方

千葉商科大学付属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

レポート・論文の根拠にできる“信頼性”的高い資料



体系的

時事的

辞書・事典

元々の意味や、定説・通説を調べることができる

図書

情報が体系的にまとめられている。そのため発行までに時間がかかる

雑誌記事・論文

テーマに絞って書かれている。即時性は高いが体系的ではない

新聞記事

雑誌よりさらに即時性は高いが体系的ではない

時系列で情報を追うときに最適。切り口が違うため複数紙の確認がよい

※ リモート の表示があるものはリモートアクセス (RemoteXs) を利用できます。
詳しくは[こちら](#)。

辞書・事典／図書

■電子書籍 (Maruzen eBook Library)

リモート

▶ <https://elib.maruzen.co.jp/>

丸善雄松堂が提供する電子書籍サービスです。

雑誌記事／新聞記事

アクセスは[こちら](#) ▶ <https://www.lib.cuc.ac.jp/search/database>

■日経BP記事検索サービス

リモート

雑誌記事・論文(本文あり)

日経BP社発行の雑誌記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■東洋経済 デジタルコンテンツ・ライブラリー

雑誌記事・論文(本文あり)

リモート

東洋経済新報社の雑誌記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■日経テレコン

リモート

新聞・総合

日本経済新聞社の記事を検索してテキスト版またはPDF版で読むことができます。

■朝日新聞クロスサーチ

リモート

新聞・総合

朝日新聞の記事検索サービスです。テキスト版またはPDF版で読むことができます。

■ヨミダス

リモート

新聞・総合

読売新聞の記事検索サービスです。テキスト版またはPDF版で読むことができます。

レポート・論文の書き方について

③レポート・論文のルール

千葉商科大学付属図書館
Ver.1.4 (2024年4月)

※ **リモート** の表示があるものはリモートアクセス (RemoteXs) を利用できます。
詳しくは[こちら](#)。

基本が学べる電子書籍

■電子書籍

リモート

電子書籍を閲覧するには

学内から

書影をクリックするとOPACの検索結果へ進みます。検索結果に表示されるURL  をクリックすると閲覧できます。

学外から

RemoteXsのデータベース一覧から「Maruzen eBook Library」へ進み、本のタイトルで検索してください。

その他の電子書籍を探すには…

図書館webサイトの[OPAC \(詳細検索\)](#)で「資料区分」の「電子書籍」にチェックを入れて検索してください。



論文・レポートを書く

■日経BP記事検索サービス

リモート

研究テーマに該当する記事だけを簡単に探せる検索システムを用意。記事の引用方法やOfficeの使い方など、論文・レポート作成に必要な知識を網羅しています。

自分の研究内容に近いテーマを選んで、キーワードとともに検索、細かな条件設定することなく、期待通りに記事を簡単に抽出できます。

論文やレポートに記事を引用する際の方法と注意点をまとめました。ルールにのっとって、論理展開を正しく補強しましょう。

WordやExcelを使って、論文やレポートを効率的に作成する方法を学びます。PowerPointでのプレゼンテーションの作り方もわかります。

ヘッダーメニューの「論文・レポートを書く」では、記事の引用方法や、WordやExcelといったOfficeの使い方など、レポート・論文作成に活用できる情報を掲載しています。

■ライティングサポートセンター (WSC)

図書館で文章作成をサポートする相談窓口です。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。